

被爆三世・四世プロジェクト

これからの私たちは

写真展 & 絵本展

被爆三世の家族写真

生き繋ぎ



いのちの繋がり
の作品展



広島おばあさん

東広島芸術文化ホール くらら
市民ギャラリー

東広島市西条栄町7番19号

2023

11/22(水)・27(月)

入場
無料

開場時間 9:00～17:00

主催

被爆三世・四世プロジェクト これからの私たちは

協力

こはる写真館、sumicco、石キアケミ、第一生命保険株式会社 広島総合支社(順不同、敬称略)

被爆三世の家族写真 生きて、繋いで

広島・長崎への原爆投下から78年を迎えた。
被爆者の祖父母から実体験を直接聞ける最後の世代である
私たちは、家族の体験をどう受け止め、次の世代になにを
伝えていけば良いのだろうか。
「おじいちゃん・おばあちゃんの被爆体験を聞かせて。」
孫の声に応える被爆者も、そうでない被爆者も、
いのちを繋いで生きてきた。
祖父母の経験した戦争・原爆とはなんだったのだろう。
平和とは、継承とは——？
被爆体験に向き合う家族と、
いのちの繋がりを視覚化する写真作品展。



堂 畝 紘子

HIROKO DOUNE

広島市生まれの写真家。

こはる写真館 代表。

被爆三世・四世プロジェクト 主宰。

2015年より「被爆三世の家族写真」撮影を行っている。

広島のおばあちゃん 温子さんのものがたり

—このおはなしは、
わたしのおばあちゃんのものがたり。

あの夏の日、
祖母が裸足で逃げ延びたあの日、
祖母は何を思い、何を見たのか。
そして、あの時代をどう生きたか。

広島を生きた一人のおばあちゃんの
ものがたりを伝える絵本作品展。



すみだ ひろみ

HIROMI SUMIDA

広島生まれのグラフィックデザイナー。

被爆三世・四世プロジェクト副主宰。

広告・書籍・アプリ・webなど様々なデザインをしながら

被爆三世・四世プロジェクトの活動を行っている。

〔被爆三世・四世プロジェクト これからの私たちは〕について

被爆三世・四世の世代(被爆三世・四世に限らない)を中心に、被爆者の実体験を直接聞くことができる最後の世代として、
その記憶をどう受け継ぎ、次の世代になにを伝えていくか、自分たちに出来ることを考えるためのきっかけ作りを行う市民グループです。

お問い合わせ先

「生きて、繋いで-被爆三世の家族写真-」ホームページ

<http://hibaku3sei.tiyogami.com/>

〔お問い合わせ専用フォーム〕 <https://onl.bz/PsYR9ri>

➡スマホでコードを読み取るとお問い合わせフォームにつながります



〒736-0085 広島県広島市安芸区矢野西6-4-26

「被爆三世・四世プロジェクト これからの私たちは」事務局

被爆三世・四世プロジェクト
これからの私たちは
各種SNS
※展示告知などお知らせします。

